

# カリキュラムマップ(1年次)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	カリキュラム編成の考え方
一般教養	英語1													コミュニケーションスキルや一般教養を身につけるとともに、大学編入・公務員試験に備えます。
	情報処理学1													パソコン等OA機器の使用に慣れるための情報処理学1は、入学間もない4～6月に開講します。冬期に開講する情報処理学2ではCADを学びます。
	情報処理学2													
	数学													
	生物学													森林科学の学びを深めるため、専門科目と平行して物理、化学、数学、生物の知識を学びます。
	物理・化学													
	国語表現													
	社会学													
	経済学													
	法学													
保健体育1														森林での実習を行う際に必要な救急救命のスキルを身につけます。体力作りや仲間とのコミュニケーションを高めるため、体育は年間を通じて実施します。
救急救命														
森林生態	樹木学													
	樹木学 実習													
	森林生態学													森林科学の基礎となる植物や生態系の知識を習得するため、森林の緑が鮮やかな初夏に樹木学、森林生態学を開講します。また、梅雨や台風により降水量が多くなる夏から秋にかけて森林機能保全を開講し、森林の公益的機能に関する知識を深めます。
	森林機能保全1													
計画・土木	造林学													
	造林学 実習													
	森林計測学													
	森林計測学実習													
	森林情報論													森林計測学、同実習で森林調査の知識や技術を身につけた後、測量学、同実習で森林測量のスキルを修得します。これらの知識をベースに、森林情報論ではGNSSやGIS、ドローンなど最新ICTを用いた森林調査等の技術を学び、森林計画では計画的な森林管理について考えを深めます。また、適正な森林管理を行う上で不可欠な路網(作業道)に関する知識を修得します。
	森林計画													
	測量学													
測量学 実習														
林業機械	作業道作設理論													
	林業安全衛生													
	林業機械学													林業の現場での即戦力となることを目指して、チェーンソー、刈払機を安全かつ効率的に使用するための知識と技能を身につけるとともに、実際の森林での立木の伐倒等を実習し、さまざまな地形や林況に応じて、考えながら作業ができる人材の養成を図ります。秋には車両系建設機械(整地)、小型移動式クレーン、玉掛けの技能講習の受講、及び走行集材機械の特別教育を受講し、演習林での操作や作業を体験します。さらに、実際に機械を使った作業の経験をふまえ、安全で効率的な作業とは何かを考えるとともに、急傾斜地での搬出に欠かせない架線の知識を学んでいきます。
	林業機械学 実習1													
林業機械学 実習2														
林業架線学1														
林産	木材物理学													木材物理学、木材加工学では、森林から生産される木材の特性や取り扱いについての基礎知識を学びます。里山資源利用論では、きのこや薪炭生産と行った伝統的な里山利用から、木質バイオマス発電等の最新の森林資源の利用について学びを深めています。
	木材加工学													
	里山資源利用論													
経済	森林林業概論													専門科目の本格的な履修に先立ち、入学後ただちに森林科学の入門講座として、森林林業概論を開講します。その後、春～秋にかけて森林生態や林業機械等の専門科目を履修した後、森林政策、森林経営、木材流通の各科目において森林、林業、木材産業の現状と課題を学び、解決策を考えていきます。
	森林政策													
	森林経営													
環境	木材流通													
	保健休養学1													
実習	造園学													専門科目の野外実習が本格化すると同時に、造園学、ワイルドライフマネジメント、森林のレクリエーション利用について学ぶ科目の履修を進め、森林・植物と人との関わりについての探求心や洞察力の養成をはかります。
	野生鳥獣被害対策													
	技術定着1													技術定着1は造林、計画、土木、機械などで学んだ知識や技術の定着をはかるためのカリキュラムを実施します。体験研修では地域でのイベントへの参画を通じて、運営地域貢献できる人材の養成をはかります。
キャリア	体験研修1													
	特別活動1													特別活動1と基礎セミナーは本校での学びを深めたり、卒業後の就職や進学など、将来のキャリア形成を具体的に描いたりするためのカリキュラムです。接遇研修の受講や業界の第一線で活躍するリーダーの講演、グループディスカッション、レポート作成等を通じて、聞く、話す、読む、書く等、良好な対人関係を築くためのコミュニケーションスキルを身につけ、社会人として、また次代のリーダーにふさわしい各種リテラシーの向上を図ります。また、インターンシップでは就業体験を通じて森林、林業の実際について理解を深めるとともに、体験した成果は学内外から聴衆を参集した報告会で発表し、プレゼンテーション能力の向上を図ります。
	インターンシップ													
選択その他	基礎セミナー													
	演習1													授業の予習、復習や、自己の興味のある分野への探求などを行う自主学習の時間として、学校のOA室、図書室等を開放します。
	ガイダンス・HR・その他行事													入学式、卒業式などの学校行事のほか、健康診断、各種研修、ホームルーム活動、進路ヒアリング等を計画的に実施します。

夏季休暇

インターンシップ